

信州地域デザインセンターの取組について

UDC信州

信州地域デザインセンター

(建設部都市・まちづくり課)

信州地域デザインセンター (UDC信州)について

信州地域デザインセンターとは？

設立の目的

これまで県内各地で多くの活発なまちづくりの取り組みが進められ、成果を上げてきましたが、その一方で、市町村単独で取り組むことには限界もあり、地域が広域で連携して資源をつなぐと共に、協力してまちづくりの担い手を育てていくことも重要になってきています。

2019年8月に設立した信州地域デザインセンター（UDC信州）は、公・民・学が連携した新しい形のまちづくり支援組織として、様々な活動を通じ、「しあわせ信州創造プラン2.0」（長野県総合5か年計画）に位置付けた「未来に続く魅力あるまち」を実現していきます。

理念と活動

3つの理念

連携により
新たな価値を創る

空間の質を向上する

未来を志向する

3つの活動

支える
まちづくり支援 

育む
セミナー等開催 

発信する
情報発信 

構成団体



①支える(まちづくり支援)

○相談件数 : 33市町村 53案件(R元年~R3年度)

(内訳)

公有地・公有施設の活用13件／市街地の再生12件／駅前整備7件／
観光拠点の整備7件／公共交通4件／広域連携3件／その他7件

➡観光拠点の整備 : 7案件

白樺湖周辺(茅野市、立科町)、下ノ諏訪宿(下諏訪町)、奈良井区(塩尻市)、
戸倉上山田温泉・稲荷山(千曲市)、寝覚めの床(上松町)、蔵の街並み(須坂市)

➡広域連携 : 3案件

しなの鉄道線沿線の広域連携(シェアサイクル導入、デマンド交通検討等)
諏訪湖周辺の広域連携(サイクリングロード等)

交通や景観等を軸に、多くの方に選ばれる地域を目指した
観光まちづくりを支援中

②育む(セミナー等開催)



7/27 第7回まちづくりセミナー

企業版
ふるさと納税について



11/29 第8回まちづくりセミナー

シンポジウムおかわり!
まちづくりにおける
交通のあり方



2/15 第9回まちづくりセミナー

官民連携事業で期待される
行政の役割について

③発信する(情報発信)

○公式HPでの情報発信

- ・UDC信州の活動状況や県内外のまちづくり情報を週1~2本程度、「公式HP」で発信
- ・毎月月末には、1カ月間のトピックスやお知らせ等を記載した「メルマガ」も発行中



「観光まちづくり」について

○人口減少、成熟社会での「まちづくり」

- ・1910年から2010年まで、人口が年間80万人のペースで増加
- ・圧倒的に不足するインフラ(道路や住宅)を整備することが急務だった



- ・今後100年は、年間80万人のペースで人口が減少、高齢化も進む
- ・今後も気候変動に伴う災害に対応するためのインフラ整備は急務だが
まちづくりの目指すところは「生活の質向上」と「地域の活性化」

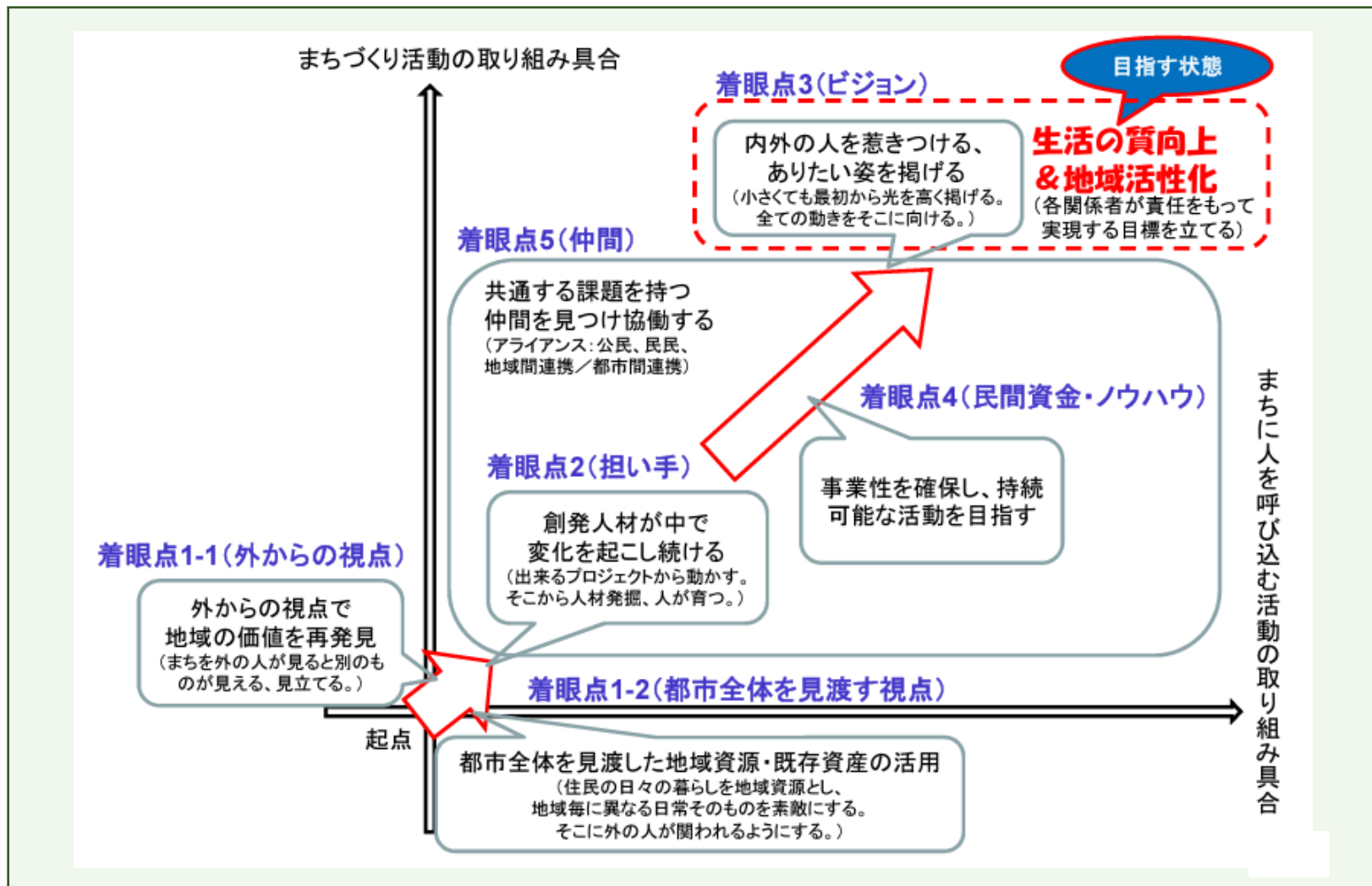


その実現には、サステイナブル(自立的/持続的)な都市を継続させる必要があるが、観光まちづくりはそのための有力な手段のひとつと考えられている

→地域外から資金を得る、地域内で経済を循環させる

○観光まちづくりに必要な5つの視点

UDC信州でも、これらの着眼点を参考に各地でまちづくりを進行中



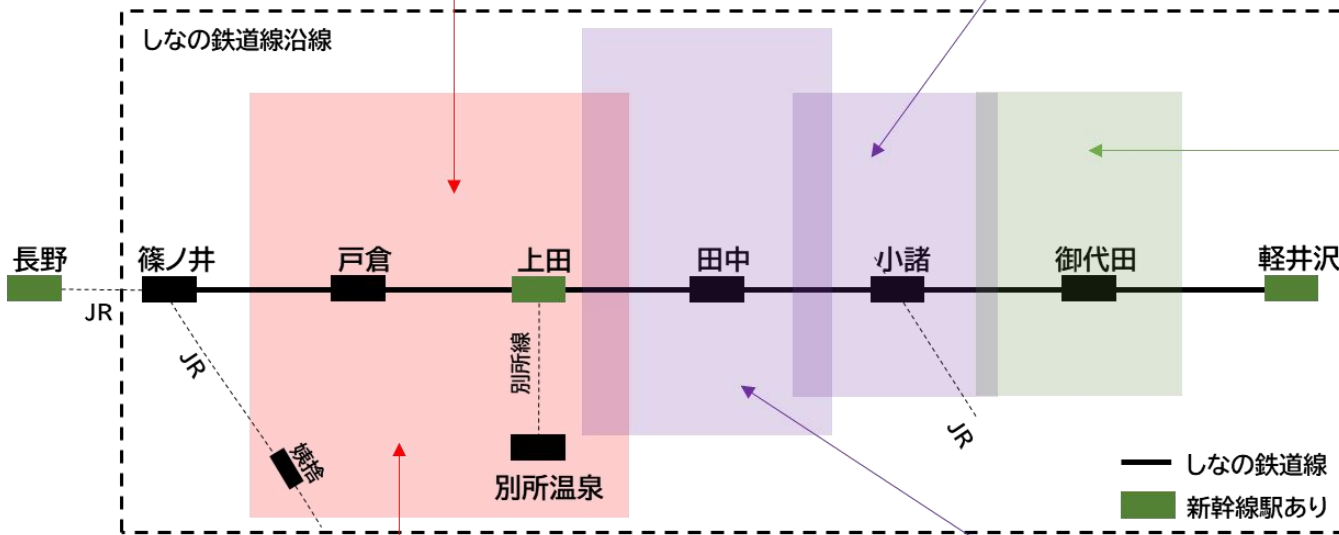
部局連携で 「観光まちづくり」を加速

○しなの鉄道線沿線の回遊性向上PJの事例

【豊富な地域資源→ポテンシャル】

景観: あんずの里(千曲) 歴史: 上田城(上田) 街並み: 柳町(上田)

ワイナリー: ヴィラデスト(東御) ワイナリー: マンズ(小諸)



美術館: MMoP(御代田)

カフェ・温泉: 芸術むら公園(東御)

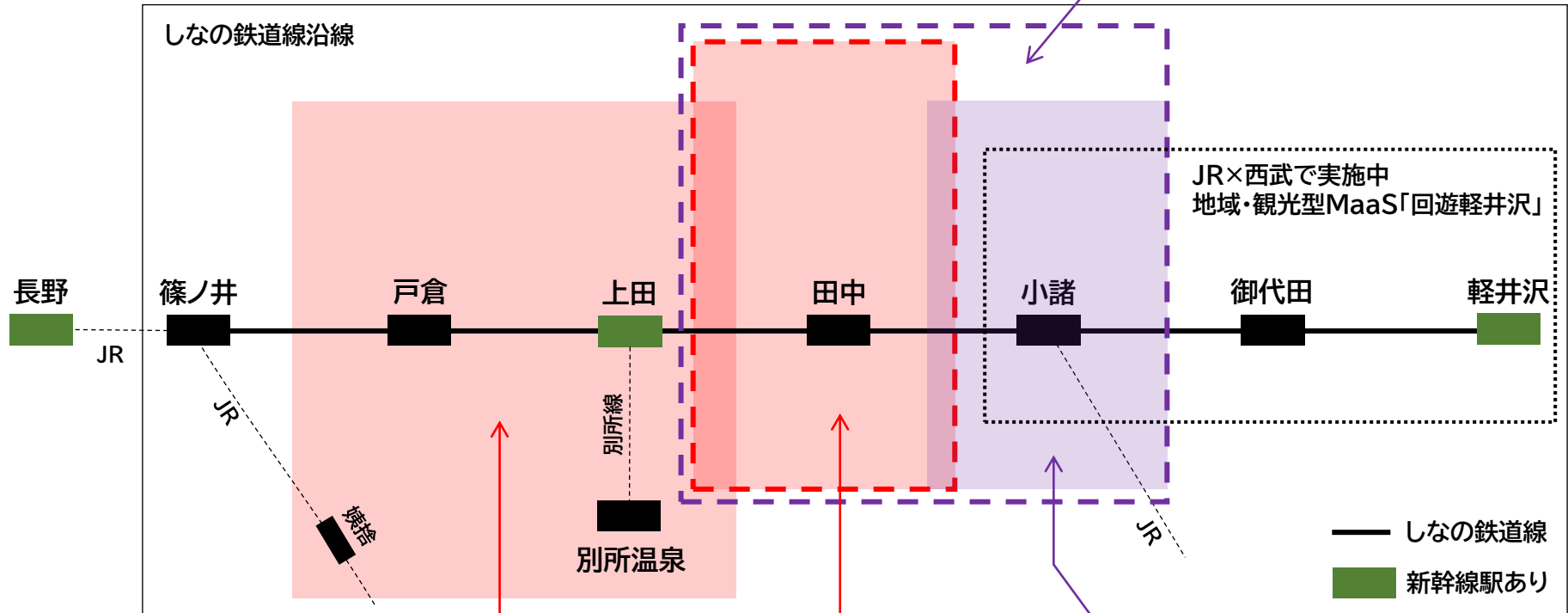
温泉: 戸倉上山田温泉(千曲) 景観: 姨捨の棚田(千曲) 温泉: 別所温泉(上田)

ワイナリー: 梶子(上田) 街並み: 海野宿(東御)

○しなの鉄道線沿線の回遊性向上PJの事例

【現状の取組み内容】

※ワイナリー周遊のための
手段を検討中



太陽光パネル+蓄電池ポート
(2022秋から導入予定)

グレードアップ
(エネルギー分野)



広域シェアサイクル(EV)
(上田・千曲の広域回遊)
※東御でも開始予定



・EVバス+EVカート
・レンタサイクル
(小諸市内の回遊)

○しなの鉄道線沿線の回遊性向上PJの事例

【部局連携イメージ】

観光客も地域住民も
過しやすい地域に

地域に適した掛け合わせ(生活の質の向上も重要)

公共交通等

- ・交通(企画振興)
- ・環境整備(建設)
 - 自転車道、歩車道分離、
道路空間の利活用等
- ・DX(企画振興)
 - アプリ等の活用で利便性向上



まだ一部
のみの連携

エネルギー等

- ・ゼロカーボン(環境)



買い物等

- ・商業振興(産労、観光)



体験・教育等

- ・地域資源(産労、観光部)
- ・文化芸術(県民文化)
- ・学習旅行(教育、農、林)



現在は、交通とエネルギーの一部連携のみだが、しなの鉄道線沿線に
点在する魅力的な地域資源を結ぶことができれば、観光客だけでは
なく、地域住民も過ごしやすく、楽しめる地域にできる

〇まとめ

- ・長野県は、質の高い地域資源が豊富な一方で、広域に点在し交通やサービスの面で連携が取れているとは言えない
 - そのポテンシャルを活かしきれていない
- ・例えば、しなの鉄道線沿線も鉄道と地域資源、サービス等を有機的に結ぶことで、観光客を増やすことが可能
 - 地域外資金の獲得、地域内経済循環の実現



UDC信州としても、間に入りながら、部局連携等を促し、観光まちづくりを加速させ、持続可能な都市が県内各地に生み出されるよう、引き続き支援していく